

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成24年2月7日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL <http://www.takamaz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,072	35.6	477	—	544	—	302	—
23年3月期第3四半期	7,428	199.5	△201	—	△168	—	14	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 284百万円(—%) 23年3月期第3四半期 △9百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	28.14	27.97
23年3月期第3四半期	1.35	1.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,957	8,361	55.5
23年3月期	14,343	8,129	56.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,295百万円 23年3月期 8,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	3.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,028	28.1	872	948.7	959	626.6	587	75.6	54.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	11,020,000株	23年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	273,129株	23年3月期	302,084株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,732,719株	23年3月期3Q	10,717,995株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による電力不足問題やタイでの洪水被害などによって生産活動に影響を受けましたが、緩やかに改善してきました。しかし、円高の進行、欧州債務問題、海外経済の減速などの景気下振れリスクが存在し、先行きが不透明なままで推移してきました。

工作機械業界におきましては、内需の緩やかな回復基調に加え、中国などの新興国における需要拡大や欧米での需要回復によって、業界需要はリーマンショック時を上回る水準まで回復してきました。特に外需は全体の約7割を占めるまでに至り、平成23年暦年の外需金額は史上最高額を達成しました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は100億72百万円と、前年同期に比べ26億43百万円(35.6%増)の増収となり、営業利益は4億77百万円(前年同期は2億1百万円の営業損失)、経常利益は5億44百万円(前年同期は1億68百万円の経常損失)、四半期純利益は3億2百万円(前年同期比1,987.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、堅調な需要増加に対応して、市場シェア拡大のために受注確保をはかってきました。特に外需の拡大をはかるため、高い需要があるタイ市場では、現地連結子会社でプライベート・ショーを開催し、積極的な営業活動に注力してきたほか、洪水時には被災したユーザを巡回し、状況把握と復旧需要への対応を進めるとともに、洪水の影響で1ヶ月遅れの開催となったタイ最大の国際見本市であるMETALEX2011にも当初計画どおりの規模で出展し、受注の拡大に努めてきました。

中国市場では、新設した喜志高松貿易(杭州)有限公司によって、新規ディーラ開拓とタカマツブランドの市場浸透を推進し、販売力の強化をはかってきました。また、現地で中国向け製品の製造を行っている杭州友嘉高松機械有限公司では、中国市場の需要に向けて、生産を増強するため、新工場の建設計画を進めており、生産力拡大をはかっています。

需要が回復してきている欧米市場に対して、ヨーロッパ市場では、販売チャネル強化のために新規ディーラ開拓を進めるとともに、EMO2011(ドイツ)出展やその引合のフォロー営業を行い、アメリカ市場では、オープンハウス開催とその引合のフォロー営業を行うとともに、航空機業界への販路拡大をはかってきました。

国内市場では、自動車業界からの需要が回復してきていることから、本社工場で開催した設立50周年記念プライベート・ショーやMECT2011(名古屋)出展で新製品を紹介して、その需要を取り込んできました。

研究開発におきましては、当社グループにとって初の本格的な複合加工機となる「XB-1000」、従来機のモデルチェンジとして更に生産性を向上させた「XY-120 PLUS」を開発しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注高は87億57百万円(前年同期比23.7%増)と堅調に推移し、工作機械受注残高は51億41百万円(同34.8%増)となりました。

売上高におきましては、89億89百万円(同36.4%増)となり、内需52億64百万円(同19.4%増)、外需は欧米市場の売上回復や堅調なアジア市場での需要を取り込んだことで、37億25百万円(同70.9%増)、外需比率は41.4%(前年同期は33.1%)に増加しております。また、営業利益は4億18百万円(前年同期は2億15百万円の営業損失)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、液晶関係が低調な中で半導体やハードディスク及びLED向け製造装置の需要が堅調に推移し、売上高が計画を上回って推移してきました。また、新たな受注確保に向けた営業活動を推進してきました。

この結果、売上高は6億83百万円(前年同期比50.6%増)となり、営業利益は52百万円(同244.3%増)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、東日本大震災の発生による影響で自動車メーカーが工場の稼働を停止したために生産量は減少しましたが、平成23年8月以降には震災前の水準まで回復しました。また、今後の売上高拡大に向けて営業活動を推進し、新たな受注の獲得をはかってきました。

この結果、売上高は3億99百万円(前年同期比3.4%増)となり、営業利益は6百万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、12.0%増加し、97億72百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、7.8%減少し、51億85百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減価償却等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、4.3%増加し、149億57百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、9.8%増加し、50億42百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、4.2%減少し、15億54百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて、6.2%増加し、65億96百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて、2.8%増加し、83億61百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は1円35銭であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,418	2,548
受取手形及び売掛金	4,299	4,580
商品及び製品	244	523
仕掛品	670	995
原材料及び貯蔵品	700	738
その他	392	390
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,721	9,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,029	967
土地	2,332	2,326
その他(純額)	1,054	884
有形固定資産合計	4,415	4,178
無形固定資産	31	22
投資その他の資産		
その他	1,175	984
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,174	983
固定資産合計	5,621	5,185
資産合計	14,343	14,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033	3,792
短期借入金	1,129	829
未払法人税等	33	25
賞与引当金	128	56
役員賞与引当金	20	17
製品保証引当金	23	29
その他	222	291
流動負債合計	4,591	5,042
固定負債		
長期借入金	867	792
退職給付引当金	482	493
役員退職慰労引当金	253	268
その他	18	0
固定負債合計	1,622	1,554
負債合計	6,214	6,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,831
利益剰余金	4,518	4,756
自己株式	△121	△110
株主資本合計	8,065	8,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	41
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△37	△59
その他の包括利益累計額合計	△0	△17
新株予約権	64	65
少数株主持分	0	0
純資産合計	8,129	8,361
負債純資産合計	14,343	14,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,428	10,072
売上原価	5,953	7,784
売上総利益	1,474	2,287
販売費及び一般管理費	1,676	1,810
営業利益又は営業損失(△)	△201	477
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	4
助成金収入	7	—
再生物売却収入	7	9
持分法による投資利益	4	54
その他	20	19
営業外収益合計	45	88
営業外費用		
支払利息	5	12
為替差損	4	9
保険解約損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	12	21
経常利益又は経常損失(△)	△168	544
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△169	544
法人税、住民税及び事業税	16	38
法人税等調整額	△201	203
法人税等合計	△184	242
少数株主損益調整前四半期純利益	14	302
少数株主利益	0	0
四半期純利益	14	302

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14	302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	4
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△6	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△9
その他の包括利益合計	△24	△17
四半期包括利益	△9	284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9	284
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。